



国際ロータリークラブ 2770 地区 第7グループ



ロータリーは機会の扉を開く

幸手ロータリークラブ

会長 小松原孔明
幹事 小川 哲也
公共イメージ向上委員長 芦葉武尊

事務局:埼玉県幸手市中 3-3-4

TEL 0480-43-8655 FAX 0480-43-8646

Email info@satterc.jp

地域とともに、地域のために今こそ英知を集結させよう！

第 2538 回 2020.10.14

ビジター紹介 子育て支援ねっとわーく 小川 万里子 (おがわ まりこ) 様
" 近藤 真純 (こんどう ますみ) 様
May's garden 代表 野川 真理子 (のがわ まりこ) 様



会長挨拶 小松原 孔明会長



皆様こんにちは。本日は10月第2例会によろしくお越しく
さいました。また、本日もお客様をお迎えしての例会です。育
て支援ネットワークより小川様・近藤様、小川様のご主人には大
変お世話になっております。また、May's gardenより、代表の
野川様、本日はご多用の中、よろしくお越し下さいました。会を
代表して御礼申し上げます。卓話の件もどうぞよろしくお願い致
します。

さて、今年度のスタートにあたり、今年のカバナーをお勤めの中里さんより、何か一つ小さなこと
で結構ですので、新規事業に取り組んで頂きたい旨のお話がありました。このような社会情勢の
中で、大きな何かを立ち上げる余裕もありませんでしたが、ふと、ここ数年目立ち始めていた格差
について着目してみたいと思いました。もちろん今年度の1年程度で何がで
きるというわけでもありませんし、ただ、現実として足元に起こりつつある
現実、知っておく必要があるのではないかと感じておりました。

本日、助成金によるご支援という形からにはなりますが、May's garden 代
表の野川様より活動の報告を頂き、クラブビジョンにも掲げさせて頂いた、
地域から頼られる団体を目指そうの初めの一步を踏み出せたらと思います。



幹事報告

次年度地区役員推薦について	梨本会員・山口会員を推薦することを理事会で承認
世界ポリオデーについて	10月24日(土) 1人500円×47名=23,500円ポリオ募金とする
青少年奉仕部門セミナー	10月28日(水)がZOOMで開催 第一部:16:00~、(小川幹事、紙本青少年奉仕副委員長) 第二部:18:00~(小松原会長)出席
セミナー報告(各委員長より)	10月28日(水)職業奉仕・国際奉仕・米山奨学 11月11日(水)青少年奉仕

ニコニコBOX

本日宜しくお願い致します。小川様、近藤様、野川様よろしく。

松原会長・小川幹事・柳沼会員・谷野会員・紙本会員・藤倉会員・梨本会員・金子会員・小山会員

ニコニコBOX・財団BOX

	合計	累計
ニコニコBOX	10,000	149,001
結婚記念日祝	0	15,005
ビジターフィー	0	0

本日の出席率

会員数	出席者数 (出席免除9名)	暫定出席率
47名	リアル 36名 リモート 2名	80.85%

卓話

子育て支援ねっとわーく 小川 万里子様



皆様、こんにちは。幸手子育て支援ねっとわーくの小川万里子と申します。私からは、「子育て応援まつり」についてお話をさせていただきます。「子育て応援まつり」は毎年12月にウェルス幸手にて開催しています。地元のボランティア団体や企業、警察、病院、個人の方々のご協力のより子ども達に楽しんでもらえるような様々なコーナーが立ち並びます。また、市内の中・高・専門・大学生達のボランティアも受け入れ、貴重な異世代交流の場にもなっています。

今年は15回目を迎える予定でしたが、コロナ感染拡大予防の為、おまつりは中止することにしました。しかし、何か他のカタチでできないか検討し、『子育て支援ねっとわーくPR展』と題して「展示」と「YouTubeチャンネルに動画配信」という方法で、ねっとわーくの活動紹介やそこに参加している人達がそれぞれどんな活動をしているのかを知ってもらえるように発信することにしました。私達にとって動画を撮ってYouTubeチャンネルにアップするなんて未知の世界。しかし、新しい事にチャレンジしてみようと試行錯誤しながら準備を進めています。また、学生ボランティアの受け入れもできませんが、コロナ禍で人とのつながりをより大事に感じており、対面せずに繋がれるように折り紙でオーナメントを作ってメッセージを添えてもらうというボランティアのカタチにしました。それを展示会場に飾り、来てくれた子どもにプレゼントします。しばらく大型イベントはできないかもしれませんが、少人数制で体験してもらう企画も考えております。いただいた助成金は、この様な活動に活用させていただきます。

尚、PR展は、12/12(土)～18(金)3時まで、ウェルス幸手エントランスで展示しておりますので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。また、幸手駅の西口につながる連絡通路にも展示予定です。チラシが出来上がりましたら配布いたしますので詳しくはそちらでご確認ください。

孤独な子育てにならないようどこかで繋がりが持てるようにと活動を続けて参りたいと思います
本日は誠にありがとうございました。

子育て支援ねっとわーく 近藤 真純様



皆様こんにちは。私、幸手子育て支援ねっとわーくの近藤と申します。本日はねっとわーくの活動についてお話をさせていただきます。この会は市民、行政のパートナーシップを進めながら支援していくことを目的とし幸手市内を中心とした子育て支援に関心のあるグループ・個人で作られています。

月一回定例会、・現場視察(保育園見学)、学習会(子育て世代の災害の備え等)、子育て応援まつりの開催が主な活動です。そして会員から児童福祉審議委員、青少年問題協議委員、各種マスタープランの策定委員等の委員を出し、幸手市の子育て支援ねっとわーくへの信認の

篤さを感じています。

活動を通じ情報交換や異世代間の交流を図っています。自分とは異なる状況の方の話を聞き刺激や励みを受けています。コロナ禍だからこそ人との繋がりの大切さやふれあうことの楽しさを痛感し、この活動を行う意味を再認識しました。

今年もイベントを行えるのは幸手ロータリー様からの助成金のおかげです。ありがとうございます。コロナ禍という現状を受け入れ今出来る事を見つけながら私達の活動を多くの方に知って頂き興味を持ってもらえたら、そして一緒に子育てを楽しめる仲間の輪が広がるよう今後も活動を続けていこうと思います。

市民ボランティアサークル May's garden 代表 野川 真理子 様



子育て世代を「食」で応援！子育て応援フードパントリー

日本国内では子どもの7人に1人が貧困状態にあると言われていて、30人クラスで約4人が貧困状態、ひとり親家庭の平均所得は夫婦で子どもを育てる家庭の半分以下、相対的貧困率も50%を超え、厳しい状況に置かれています。しかし、現代においての子どもの貧困は外見からはわかりにくく見分けがつかえません。そのため、子ども自身が「助けて」と声を上げられず、苦

しい生活の中で未来への希望や夢、自己肯定感などを失っていくことが心配されています。

貧困世帯や生活困窮世帯の子どもなどに向けた食の支援活動で有名なものに「子ども食堂」があります。しかし、地域に子ども食堂があることを知らない、知っていても利用しづらい(貧困状態にあることを知られたくない)という方が、「フードパントリー」であれば利用するというケースが多々見受けられます。

食の支援が必要な時に誰でも食品が受け取れる場所を、開設・運営する活動の事を「フードパントリー」と呼んでいて、利用者は住まいの近くで食品を受け取ります。配付される食品は「フードバンク」から提供を受けた食品、「フードドライブ(食品寄付所)」で集まった食品、近隣の農家・店舗などから提供を受けた食品で構成されています。

「フードパントリー」の中でも、ひとり親世帯など、子育て中で食料支援が必要な家庭を対象を限定し、経済的に困難な状況におかれている子どもたちを支援するものを「子育て応援フードパントリー」と呼びます。対象世帯を限定している為、従来型の「子ども食堂」では運営団体側のアウトリーチが届きにくかった家庭にアプローチしやすくなり、「様々な支援に繋げる」「顔の見える関係を築く」「地域と繋がるきっかけづくり」の場となっています。

「フードパントリー」の真の目的は繋がりづくりです。繋がりをつつやと、取り残される人のいない社会をつくっていくために、官と民が連携することは勿論ではありますが、切れ目のない支援活動を継続するには、地域の企業や個人の支援や協力が鍵となっています。

これまで奉仕活動に関わったことがない方でも気軽に参加できるように、そして、各々が、できる時にできる範囲で関わることを大切にして、私たちは活動してまいります。

